



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は売られる展開となりました。週末に世界的な COVID19 感染が引き続き拡大したほか、OPEC+の減産交渉決裂を受けて、サウジアラビアが増産や販売価格の大幅引き下げを表明したことをきっかけに WTI 原油先物価格が 30%を超える暴落。週明け早朝のオセアニア市場では株価指数の急落につれて一時 103.53 円まで売り込まれました。その後は実需勢の買いから 104.26 円まで買い戻される場面もみられましたが、米系マクロファンドなどのまとまった売りが持ち込まれると再び急落。市場では「103.50 円で大量の SL を付ける動き」との声も聞かれ、一時 101.57 円まで加速度を増して下落しました。101 円台では「本邦長期資金の買いも観測された」ことから、103.06 円まで値を戻したものの、戻りも限定的となっています。また、原油価格の暴落を受けて、カナダドル円や豪ドル円、メキシコペソ円などが急落となっています。日経平均は寄り付きから大幅な下落。結局、1050.99 円安で週明けの取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の欧州市場では、ユーロドルは底堅い動きとなっています。アジア時間は米長期金利の急低下を受けて買いが先行。一時 1.1495 ドルまで買い上げられています。市場参加者からは「先週末高値の 1.1355 ドルが目先のサポートレベル」との声も聞かれています。ドル円は「トランプ米大統領が当選した 2016 年 11 月 9 日の安値 101.20 円が重要なサポートレベル」として意識されています。今日の経済指標では、21 時 15 分に 2 月カナダ住宅着工件数が発表されます。21 時 30 分には 1 月カナダ住宅建設許可件数が予定されています。また、米国は 8 日より夏時間に移行しています。

通貨ペア	高値	安値	16:00時点	通貨ペア	高値	安値	16:00時点
USDJPY	104.93	101.57	102.64	AUDJPY	69.18	64.38	67.14
EURUSD	1.1495	1.1286	1.1408	NZDJPY	66.69	61.30	64.34
EURJPY	119.23	116.38	117.10	日経平均	20347.19	19472.26	19698.76
GBPJPY	136.87	132.98	134.56	TOPIX	1443.16	1378.43	1388.97
CHFJPY	112.27	110.12	111.05	上海総合指数	2989.21	2940.71	2943.29
CADJPY	77.05	73.95	75.28	国債10年債利回り	-0.1450	-0.1920	-0.1610

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。